授業科目	動物繁殖	殖学			担当教員	佐藤 真帆			
対象年次・学期	愛玩動 <sup>物</sup> 期	物看護館	<b>両学科3年・後</b>	必何	後・選択区分	必修	単位数		
授業形態	1.12				授業回数		時間数		
授業目的	繁殖に	関わる刑	<b>ジ態と機能を学</b> び	が、妊娠	張・分娩と新生	子管理、遺伝学	の基礎知識を値	<b>多得する。</b>	
到達目標	生殖器	から妊娠	<b>張分娩に関して、</b>	また新	<b>が生子管理と遺</b>	伝について理解	する。		
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物	物看護的	<b>币カリキュラム</b> 準	<b></b> 上拠教科	斗書シリーズ 1	巻 動物形態機	能学/動物繁殖	道学	
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準	<b>集</b>		
	試験		70						
評価方法・	レポー		0	孪価 <i>=</i>	テスト:70%				
評価基準	小テス	١	30		スト:30%				
	提出物		0						
	て の 他		0						
留意事項									
履修主題・	回		履修主題			<b>履修</b>	§内容 ————————————————————————————————————		
履修内容	1	繁殖智	器官 1 		犬の生殖器(雄、雌)				
	2	繁殖智	器官 2		猫の生殖器(雄、雌)				
	3	繁殖器	書官 3		生殖器の機能				
	4	精子			精子形成				
	5	卵子			卵子形成				
	6	ホルモ	∃ン 1		精巣のホルモン				
	7	ホルモ	<b>ミ</b> ン 2		卵巣のホルモン				
	8	性周期	月 1		犬の発情周期				
	9	性周期	月 2		猫の発情周期	9			
	10	交配と	と妊娠と分娩 1		犬、猫の交尾、受精、妊娠				
	11	交配と	と妊娠と分娩 2		分娩				
	12	不妊乳	 <b>手術</b>		去勢と避妊手	=術、帝王切開			
	13	新生于	子管理 1		新生子の機能	· 形態			
	14	新生于	子管理 2		新生子の先天	性疾患			
	15	害仁当	 学概論		遺伝の基礎知識				

授業科目	動物繁殖学	担当教員	佐藤	真帆	動物病院
1支未行日	<b>到</b> 彻系阻子	実務 経験	有:	無:	<b>単川10月7月</b> 7元
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年 · 後期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

	1							1	
授業科目	動物病	理学			担当教員	中村 匡佑			
対象年次・学期	愛玩動物 期	物看護的	市学科 3 年・後	必何	多・選択区分	必修	単位数		
授業形態					授業回数		時間数		
授業目的	様々な	疾病が糺	且織や臓器にもた	こらす変	変化を学び、病	態について理解す	る。		
到達目標	細胞や紅	組織の変	2化、循環障害、	炎症、	腫瘍、先天異	常について理解す	る。		
テキスト・ 参考図書等	   愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 2 巻 動物病理学/動物薬理学 								
	評価が	評価方法 評価割合(%)				評価基準			
	試験		70						
評価方法・	レポー		0	<b>郵価</b>	式験:70%				
評価基準	小テス	<u> </u>	30		スト:30%				
	提出物		0						
 履修上の	その他		0	<u> </u>					
留意事項									
履修主題・			履修主題			履修 [	内容		
履修内容	1	動物症	病理学の基礎 1		病理学とは				
	2	動物症	病理学の基礎 2		病因				
	3	組織† 1	P細胞に生じる変	化	傷害と細胞死				
	4	組織† 2	Þ細胞に生じる変	紀	傷害と細胞死				
	5	3	P細胞に生じる数		修復と再生				
	6	組織ヤ 4	b細胞に生じる変	纪	修復と再生				
	7	循環障	達害 1		血液と組織液の循環障害				
	8	循環障	寶害 2		ショック				
	9	炎症	1		定義と原因				
	10	炎症	2		形態的変化				
	11	炎症	3		分類				
	12	腫瘍	1		定義と特徴				
	13	腫瘍	2		増殖と免疫				
	14	腫瘍	3		原因と種類				
	15	先天昪	<b>建常</b>		様々な異常				

授業科目	動物病理学	担当教員	中村匡佑		動物病院
1文末1十口	到1 <b>7</b> 01701年子	実務 経験	有:	無:	<b>単力1の1内1元</b>
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年・後期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	動物薬	理学			担当教員	中村 匡佑				
対象年次・学期				必何	多・選択区分		単位数			
授業形態					授業回数		時間数			
授業目的	II .		D体内動態と作用 こ用いられるかを			副作用について学	び、動物の狙	疾病の判断や治		
到達目標	循環器する。	・泌尿器	<b>器、オータコイド</b>	・内分	分泌・代謝、血	液作動薬、免疫系	、化学療法薬	薬について理解		
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ2巻 動物病理学/動物薬理学								
	評価が	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		70							
評価方法・	レポー	٢	0	±π/≖±	式験:70% スト:30%					
評価基準	小テス	٢	30							
	提出物		0							
	その他		0							
履修上の 留意事項										
履修主題・			履修主題			履修内	内容			
履修内容	1	循環器	器・泌尿器 1		血管拡張、心不全治療薬					
	2	循環器	器・泌尿器 2		利尿薬、抗利尿薬					
	3	循環器	器・泌尿器 3		その他の循環器、泌尿器に関わる薬					
	4	オータ 謝 1	タコイド・内分泌	・代	オータコイド					
	5	オータ 謝 2			抗炎症薬					
	6	オー? 謝 3	タコイド・内分泌	・代	内分泌・代謝に関わる薬					
	7	血液作	作用 1		貧血と抗貧血	1薬				
	8	免疫系	<b>₹</b> 1		免疫に関わる	因子				
	9	免疫系	<del></del> 2		ワクチン、そ	の他の薬				
	10	化学療	·		抗腫瘍薬					
	11	化学療	·		抗菌薬					
	12	化学療			抗真菌薬と駆	<b>区</b> 虫薬				
	13	化学療			殺虫剤と消毒	薬				
	14	化学療			その他の化学					
	1	1			I.					

授業科目	動物薬理学	担当教員	中村匡佑		動物病院
1X <del>X</del> 17 L1	到が未生す	実務 経験	有:	無:	שלא פיזו לארנעב
対象年次・学期		担当教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	比較動物	勿学			担当教員	前鼻	彰人			
対象年次・学期	愛玩動物 期	勿看護的	<b>両学科3年・前</b>	必何	多・選択区分	必修		単位数		
授業形態					授業回数			時間数		
授業目的	の品種や	や飼養管	生動物の概要を理 管理法、実験動物 管理について学る	」との関						
到達目標	産業動物	勿につい	1て理解する。							
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物	勿看護館	<b>币カリキュラム</b> 準	拠教科	4書シリーズ6	巻 動	物行動学 /	愛玩動物学』	/ 比較動物学	
	評価方	面方法 評価割合(%)					評価基準			
	試験		70							
評価方法・ 評価基準	レポー		0	評価詞	<b>以</b>					
可调坐十	小テス		30	小テス	スト:30%					
	その他		0							
履修上の 留意事項	·									
履修主題・			履修主題				履修内	內容		
履修内容	1	産業重	力物 1		産業動物学概論					
ļ.	2	牛 1			牛の歴史と品種、特徴					
	3	牛 2			牛の形態機能と繁殖					
	4	牛 3			牛の飼養管理と疾病					
	5	豚 1			豚の歴史と品種、特徴					
	6	豚 2			豚の形態機能と繁殖					
	7	豚 3			豚の飼養管理と疾病					
	8	鶏 1			鶏の歴史と品種、特徴					
	9	鶏 2			鶏の形態機能と繁殖					
	10	鶏 3			鶏の飼養管理		5			
	11	馬 1			馬の特徴と解					
	12	馬 2			馬の飼養管理					
	13		山羊 1 		羊と山羊の特					
	14		山羊 2 		羊と山羊の館		と疾病			
	15	産業重	加物 2		畜産業と酪農業					

投業科目   比較動物学   投業科目   比較動物学   投業科目   投業科組   投業形態   投業形態   投業形態   投業形態   投業形態   投業形態   投業形態   投業   投票   投票   投票   投票   投票   投票   投票						
大学期   日   日   日   日   日   日   日   日   日	拇攀利日	比較動物学	担当教員	前鼻彰人		動物病院
を表現	12 * 17	レードス主がインプー	実務 経験	有:	無:	בוק היו
经験 担当員 実務験 担当員 実務験 担当員 実務験 担判員 実務験	対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年・前期	担当 教員			
教 東経 担教 実経 担教 実施 を経 し 担教 実施 を経 し は ロ な また し は な な また し は な また し は な な な な また し は な な な な な な な な な な な な な な な な な な	授業形態		実務 経験			
経験 担教 実経験 担教 実経 担教 実			担当 教員			
教員 実経験 担對員 実経験 担教 実務験 担對員 実経験 担對員 実務験 担對員 実務験 担對員 実務験 担對員 実経験 担對員 実際験 担對員 実際 担對員 実際 担對員 実際 担對員 実務						
経験  担教 実経 出資 実経 出教 実経 担教 実経 担教 実経 担教 実経 担教 実経 担教 実経 担教 実経 担当員 実務験						
教員 実務験 担当 実務験 担教 実務験 担教 実務験 担教 実務験 担教 実務験 担教 実務験 担教 実務験 担教 実務験 担教 実務験 担教 実務験 担教 実務験						
経験 担当 実務験 担対 更 実務験 担対 更 実務験 担対 更 実務験 担対 更 実務験 担対 更 実務験 担対 更 実務験			担当教員			
教						
経験       担教       実務験       担教       実験       担当人       実験       担当人       実務験       担当人       実務       担当人       実務						
教員       実務       担当員       実験       担当員       実務       担当員       実験       担当員       実験       担当員       実務						
経験 担当 教 実務験 担当 教 実務験 担当 教 実務験 担当 教 実務験						
教員       実務       担当       教員       実務       担当       教員       実務       担当       教員       実務			実務 経験			
経験 担当 教員 実務 経験 担当 教員 実務 経験 担当 教員			担当 教員			
教員 実務 経験 担当 教員 実務 経験 担当 教員			実務 経験			
経験 担当 教員 実務 経験 担当 教員 実務			担当教員			
教員       実務       経験       担当       教員       実務			実務 経験			
経験       担当       教員       実務			担当教員			
教員			実務経験			
			担当教員			
			実務経験			

	<u> </u>										
授業科目	比較動物	物学			担当教員	前鼻	前鼻 彰人				
対象年次・学期	愛玩動物 期	物看護館	市学科 3 年・後	必何	多・選択区分	必修		単位数			
授業形態					授業回数			時間数			
授業目的	の品種な	や飼養管	上動物の概要を理 管理法、実験動物 管理について学品	かとの 関							
到達目標	実験動物理解する		<b>上動物、展示動</b> 物	<b>かについ</b>	1て学び、動物	園見学	を通して野	生動物の個位	本・群管理等を		
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物	物看護的	<b>ボカリキュラム</b> 準	<b>基拠教</b> 科	抖書シリーズ 6	巻 動	物行動学 /	愛玩動物学,	/ 比較動物学		
	評価な	評価方法 評価割合(%)					評価基準				
	試験		70								
評価方法・	レポー			<b>郵価</b>	式験:70%						
評価基準	小テス	١	30		X F : 30%						
	提出物										
 履修上の	その他										
留意事項											
履修主題・			履修主題				履修2	容			
履修内容	1	展示動	力物 1		動物園の役割						
	2	動物園	見学実習		旭山動物園						
	3	動物園	見学実習		旭山動物園						
	4	動物園	見学実習		旭山動物園						
	5	動物園	見学実習		旭山動物園						
	6	展示動	加物 2		動物の個体・群・行動管理						
	7	展示動	加物 3		動物園等の施設管理						
	8	実験重	力物 1		実験動物学概	斑論					
	9	実験重	加物 2		実験動物の飼	養管理	1				
	10	実験重	力物 3		制御とは						
	11	実験重	力物 4		疾患モデルと	代替法	<del>-</del>				
	12	野生重	力物 1		野生動物の分	類と生	物多樣性				
	13	野生重	加物 2		鳥獣害と管理法						
	14	野生重	加物 3		絶滅危惧種						
	15	野生重	力物 4		外来生物と野	<b>予生動物</b>	刺救護				

投業科目   比較動物学   投業務
実務   接験   有: 無:   対象年次・学期   愛玩動物看護師学科 3 年・後期   担当   教員   実務   経験   担当   教員   実務   経験   担当   教員   実務   経験   担当   教員   実務   経験   担当   教員   実務   上当   教員   実務   上述   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大田   大
投業形態   教員   実務   経験   担当   教員   実務   経験   担当   教員   実務   接験   担当   教員   実務   接験   担当   教員   実務   大変   大変   大変   大変   大変   大変   大変   大
経験   担当 教員   実務   経験   担当 教員   実務   接験   担当 教員   実務   を表   を表   を表   を表   を表   を表   を表   を
教員       実務       経験       担当       教員       実務
経験       担当       教員       実務
教員
担当 教員
実務 経験
担当教員
実務
担当 教員
実務 経験
担当 教員
実務 経験
担当
実務 経験
担当 教員

授業科目	動物感染症学		担	旦当教員	佐藤	真帆			
対象年次・学期	愛玩動物看護 期	師学科 3 年・前	必修	・選択区分	必修		単位数		
授業形態			持	受業回数			時間数		
授業目的		虫の分類、生物学  、予防・治療法な て理解する。							
到達目標	寄生虫の分類	と特徴、診断方法	と治療	法を理解する	0				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護	師カリキュラム準!	拠教科	書シリーズ 3	巻 重	物感染症学	!		
	評価方法	評価割合(%)				評価基準			
	試験	70							
評価方法・	レポート	0	<b>評価試</b>	式験:70%					
評価基準	小テスト	30		►: 30%					
	提出物	0	-						
 履修上の	その他	0							
留意事項									
履修主題・	回	履修主題				履修区	内容		
履修内容	1 寄生	虫の分類と特徴 1		原虫総論					
	2 寄生	虫の分類と特徴 2		各種原虫症(5	分類、	形態、生活	感、病原性)。	と駆虫	
	3 寄生	虫の分類と特徴 3		各種原虫症(5	虫症(分類、形態、生活感、病原性)と駆虫				
	4 寄生	虫の分類と特徴 4		各種原虫症(名	分類、	形態、生活	感、病原性)。	と駆虫	
	5 寄生	虫の分類と特徴 5		各種蠕虫症・総論					
	6 寄生	虫の分類と特徴 6		各種蠕虫症・	線虫(	分類、形態、	生活感、病	原性)と駆虫	
	7 寄生	虫の分類と特徴 7		各種蠕虫症・	線虫(	分類、形態、	生活感、症	原性)と駆虫	
	8 寄生	虫の分類と特徴 8		各種蠕虫症・	吸虫(	分類、形態、	生活感、症	原性)と駆虫	
•	9 寄生	虫の分類と特徴 9		各種蠕虫症・	条虫(	分類、形態、	生活感、病	原性)と駆虫	
	10 寄生	虫の分類と特徴 10	0	各種衛生動物	別総論				
	11 寄生	虫の分類と特徴 1	1	駆虫				5感、病原性)と	
	12 寄生	虫の分類と特徴 12	,	各種衛生動物 感、病原性)。			ラミ系(分類、	形態、生活	
	13 寄生	虫の分類と特徴 1:					類、形態、生	E活感、病原性)	
	14 寄生	虫の診断と検査	1	各種検査法					
	15 寄生	虫の診断と検査	2	各種診断法					

授業科目	動物感染症学	担当教員	佐藤	真帆	動物病院
1又来11口	到彻总未准于	実務 経験	有:	無:	אַר אַרעירעדעד אַרעירעדעדעדעדעדעדעדעדערעדעדערעדער
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年 · 前期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	公衆衛生	生学				担当教員	前鼻 彰人				
対象年次・学期	愛玩動 <sup>物</sup> 期	物看護的	市学科3年	・前	必但	巻・選択区分	必修	単位数			
授業形態						授業回数		時間数			
授業目的	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への 応用について理解する。										
到達目標	疫学と	疫学と疾病予防について理解する。									
テキスト・ 参考図書等			雨カリキュラ 関連法規	ラム準	<b></b>	書シリーズ 5	巻 公衆衛生学/動	协物看護関連	法規/動物愛		
	評価	方法	評価割合	(%)			評価基準				
	試験			70							
評価方法・ 評価基準	レポー			0	評価記	式験:70%					
計逥基华	サイス 提出物	<u> </u>		30		スト:30%					
	その他			0							
履修上の 留意事項											
履修主題・			履修主題	夏			履修四	内容			
履修内容	1	公衆衛	前生の概要	1		公衆衛生の目的、概要					
	2	公衆衛	前生の概要	2		公衆衛生行政と獣医師					
	3	公衆衛	前生の概要	3		国民衛生					
	4	疫学と	:疾病予防	1		疫学概論					
	5	疫学と	:疾病予防	2		疫学の指標と	:研究方法				
	6	疫学と	:疾病予防	3		感染と対策					
	7	疫学と	:疾病予防	4		非感染症の疫	受学とサーベイラン	/ス			
	8	人獣丼	共通感染症	1		病原体等に関	間する安全対策、小	<b>\テスト</b>			
	9	人獣丼	共通感染症	2		伴侶動物と人	、が関係する主な人	、獣共通感染	症 1		
	10	人獣丼	共通感染症	3		伴侶動物と人	、が関係する主な丿	、獣共通感染	症 2		
	11	人獣丼	共通感染症	4		伴侶動物と人	、獣共通感染	症 3			
	12	人獣丼	共通感染症	5		伴侶動物と人	、が関係する主な人	、獣共通感染	症 4		
	13	人獣丼	共通感染症	6		症 5					
	14	人獣丼	共通感染症	7		再興感染症と	:新興感染症、小ラ	こスト			
	15	人獣丼	共通感染症	8		狂犬病予防σ	)重要性				

授業科目	公衆衛生学	担当教員	前鼻彰人		動物病院
1XX11 L	△ 次闸 上于	実務 経験	有:	無:	אלין ניאו נידענב
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年・前期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	公衆衛生	生学			担当教員	前鼻 彰人				
対象年次・学期	愛玩動物	物看護館	<b>両学科3年・後</b>	必何	 多・選択区分	必修	単位数			
授業形態	743				授業回数		時間数			
授業目的		環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への 応用について理解する。								
到達目標	食品衛生	食品衛生と環境衛生について理解する。								
テキスト・ 参考図書等		愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 5 巻 公衆衛生学/動物看護関連法規/動物愛 護・適正飼養関連法規								
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		70							
評価方法・	レポー	٢	0	並布	式験:70%					
評価基準	小テス	١-	30		スト:30%					
	提出物		0							
	その他		0							
履修主題・	回						 内容			
履修内容	1	食品額			食品衛生法					
	2	食品德	新生 2		食中毒					
	3	食品徵	新生 3		食中毒					
	4	食品德	新生 4		食品とアレル	レギー				
	5	食品復	新生 5		動物性食品の	)衛生				
	6	食品德	新生 6		食品の保存方	法				
	7	食品德	新生 7		食品安全行政	枚の動向				
	8	食品德	新生 8		食品由来の優	建康危害防止				
	9	環境德	新生 1		環境衛生とは	t				
	10	環境德	新生 2		地球規模の環	環境問題				
	11	環境德	新生 3	水の衛生						
	12	環境德	<b>新生 4</b>	生活環境問題						
	13	環境額	新生 5	生活環境問題						
	14	環境德	新生 6		廃棄物問題					
	15	環境德	新生 7		衛生動物					

授業科目	公衆衛生学	担当 教員	前鼻彰人		動物病院
1文来11口	公水间工于	実務 経験	有:	無:	<b>事力1の7内9</b> で元
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年 · 後期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

<b>运光</b> 幻口	まれみか わしよい	<b>手</b>	4		<b>七</b>	お自	±4.1			
授業科目	動物外科	<b> </b> 1	<u>z-</u>		担当教員	刖畀	彰人			
対象年次・学期	愛玩動物 期	看護師	市学科 3 年・前	必何	多・選択区分	必修		単位数		
授業形態					授業回数			時間数		
授業目的		外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れ を系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。								
到達目標	麻酔と術	麻酔と術後管理、外傷管理や救急対応、リハビリテーションについて理解する。								
テキスト・ 参考図書等									雙学 / 動物医療	
	評価方	法	評価割合(%)				評価基準			
	試験		70							
評価方法・	レポート		0	<b>証価</b> 重	式験:70%					
評価基準	小テスト	-	30		<sub>丸映:70%</sub> スト:30%					
	提出物		0							
履修上の 留意事項	*C 07   E		0							
履修主題・	回		履修主題				履修區	内容		
履修内容	1	外傷・	創傷管理 1		創傷の種類と管理法					
	2	外傷・	創傷管理 2		ドレーン管理や止血法、骨折当等の管理					
	3	麻酔	1		麻酔前投与σ	種類、	特徴			
•	4	麻酔	2		注射麻酔の種	類、特	寺徴			
	5	麻酔	3		吸入麻酔の種	類、特	寺徴			
	6	麻酔	4		麻酔看視項目					
	7	麻酔	5		麻酔記録の作	成				
	8	術後管	· 理 1		覚醒後のモニ	タリン	ノグ			
	9	術後管	<b>空理</b> 2		疼痛管理等σ	)術後管	<b>管理</b>			
	10	救急救	文命 1		エマージェン	シーの	D原因と病態			
	11	救急救	文命 2		一次救命処置	(BL	3)			
	12	救急救	文命 3		二次救命処置	( ALS	3)			
	13	救急救	文命 4		気管挿管と心肺蘇生					
	14	動物理	里学療法 1		理学療法の基	礎				
	15	動物理	里学療法 2		原理と手技					

授業科目	動物外科看護学	担当教員	前鼻彰人		動物病院
1又来11口	到がパパイロスナ	実務 経験	有:	無:	<u> </u>
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年 · 前期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

						T				
授業科目	動物臨	床看護院	学各論		担当教員	岩崎忍				
対象年次・学期	愛玩動 <sup>物</sup> 期	物看護的	<b>市学科3年・前</b>	必任	修・選択区分	必修	単位数			
授業形態					授業回数		時間数			
授業目的	基本的	<b>疾患の病理生態を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関するな知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価の方法について理解する。</b>								
到達目標	皮膚・ほ	眼科系统	限科系疾患、自己免疫・内分泌系疾患、癌、緊急を要する疾患について理解する。							
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物	加物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 9 巻 動物臨床看護学総論/動物臨床看護学各								
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準				
	試験		70							
評価方法・	レポー	٢	0	±π/ж±	: <b>十</b> E <b>个 . フ</b> OO/					
評価基準	小テス	٢	30		試験:70% スト:30%					
	提出物		0							
	その他		0							
履修上の 留意事項										
履修主題・	回		履修主題			履修四	内容			
履修内容	1	神経系	系疾患 1		水頭症					
	2	神経系	系疾患 2		てんかん					
	3	神経系	系疾患 3		椎間板ヘルニア、変形性脊椎症					
	4	神経系	系疾患 4		環軸亜脱臼、前庭疾患、小テスト					
	5	造血器	器・免疫介在性疫	₹患 1	赤血球に生し	じる代表的な疾患				
	6	造血器	器・免疫介在性疫	患 2	白血球に生し	じる代表的な疾患				
	7	造血器	器・免疫介在性疫	€患 3	その他の造血	1器・免疫介在性疫	<b>美患</b>			
	8	内分泌	必系疾患 1		下垂体、甲状 テスト	状腺、上皮小体に生	Eじる代表的	な疾患・ 小		
	9	内分泌	必系疾患 2		膵臓、副腎、	生殖腺に生じる代	代表的な疾患			
	10	担が <i>f</i>	υ動物の看護 1		がんの基礎					
	11	担が <i>A</i>	υ動物の看護 2		治療と看護内	]容				
	12	担がん	υ動物の看護 3		化学療法					
	13	緊急犯	矣患 1		中毒、誤飲、	アナフィラキシー	_			
	14	緊急犯	<del></del> 夫患 2		感電、熱傷					
	15	緊急犯	笑患 3		熱中症、交通	<b>通事故、ショック、</b>	小テスト			

授業科目	動物臨床看護学各論	担当教員	岩崎忍		動物病院
技業行日	<b>到彻颐从自设子</b> 宜品	実務 経験	有:	無:	型J170717517元
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年 · 前期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	動物看記	看護関連法規			担当教員	前鼻	彰人			
対象年次・学期	愛玩動物 期	物看護師学科3年・後			多・選択区分			単位数		
授業形態					授業回数			時間数		
授業目的	動物看記	動物看護に関連する基本的な法規について学び、社会における愛玩動物看護師の役割を理解する。								
到達目標	愛玩動物 る。	愛玩動物看護師法や獣医療関連行政、公衆衛生と狂犬病予防法規、薬事行政法規について理解する。								
テキスト・ 参考図書等		愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ 5 巻 公衆衛生学 / 動物看護関連法規 / 愛玩動物・適正飼養関連法規								
	評価が	方法	評価割合(%)				評価基準			
	試験		70							
評価方法・	レポー	<u> </u>	0	=====================================	テスト:70%					
評価基準	小テス	١	30		スト:30%					
	提出物		0							
	その他		0							
履修上の 留意事項										
履修主題・	回		履修主題				履修 履	内容		
履修内容	1	法学約	<b></b>		法の基礎知識	į				
	2	愛玩重	协物看護師法		愛玩動物看護	師法の	)理解			
	3	獣医療	· · · · · · · · · · · · · ·		獣医師法					
	4	公衆德	新生行政法規 1		感染症法					
	5	公衆德	計生行政法規 2		感染症法					
	6	公衆徭	計生行政法規 3		狂犬病予防法					
	7	薬事行			医薬品医療機器等法					
	8	家畜德	<b>新生行政法規</b>		家畜伝染病予	防法				

授業科目	動物看護関連法規	担当教員	前鼻彰人		動物病院
1文末1十口	<b>到</b> /70 自废 利廷/公风	実務 経験	有:	無:	<b>単力1の1内1元</b>
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年 · 後期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

								1			
授業科目	動物形態	動物形態機能学実習(3年)			担当教員	教員 未登録					
対象年次・学期	愛玩動物 期	物看護的	<b>市学科3年・前</b>	必任	修・選択区分	必修	単位数				
授業形態					授業回数		時間数				
授業目的	動物の	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。									
到達目標	運動器	運動器や内臓器官、組織像を理解し、顕微鏡の適切な操作方法を修得する。									
テキスト・ 参考図書等		愛玩動物看護師カリキュラム準拠動物看護実習テキスト(第3版) 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ1巻 動物形態機能学/動物繁殖学									
	評価が	方法	評価割合(%)			評価基準					
	試験		70								
評価方法・	レポー	٢	0	並布	试験:70%						
評価基準	小テス	<u> </u>	30		スト:30%						
	提出物		0								
	その他		0								
履修上の 留意事項											
履修主題・			履修主題			履修四	内容				
履修内容	1	顕微釒	竟の取り扱い 1		顕微鏡の各部名称と操作、管理						
	2	運動器	<b>署</b> 1		骨格標本を用いた関節の名称と構造、機能						
	3	運動器	≸ 3		模型を用いた骨格筋の名称と構造、機能						
	4	運動器	署 3		模型を用いた骨格筋の名称と構造、機能						
	5	運動器	<b>署</b> 4		模型を用いた骨格筋の名称と構造、機能						
	6	内臓器	皆 1		内臓器官の抵	巴握(模型、解剖)					
	7	内臓器	皆 2		内臓器官の把	巴握(模型、解剖)					
	8	内臓器	皆 3		内臓器官の抵	巴握(模型、解剖)	ı				
	9	内臓器	皆 4		内臓器官の抵	巴握(模型、解剖)	ı				
	10	内臓器	<b>器官</b> 5		雄の生殖器を	と含む特徴的な器官	<u> </u>				
	11	内臓器	器官 6		雌の生殖器を	と含む特徴的な器官	<u> </u>				
	12	組織條	象の観察 1		主要臓器の組織像観察と解剖						
	13	組織條	象の観察 2		主要臓器の組織像観察と解剖						
	14	組織條	象の観察 3		主要臓器の組織像観察と解剖						
	15	組織條	象の観察 4		主要臓器の組	且織像観察と解剖					

授業科目	動物形態機能学実習(3 年)	担当教員	佐藤	真帆	動物病院
1XX17 LI		実務 経験	有:	無:	שלא נייז ניירנעב
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年・前期	担当 教員			
授業形態		実務経験			
		担当 教員			
		実務経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

								1			
授業科目	動物内	科看護等	学実習		担当教員	前鼻 彰人					
対象年次・学期	愛玩動物 期	物看護的	<b>両学科3年・前</b>	必何	多・選択区分	必修	単位数				
授業形態					授業回数		時間数				
授業目的	内科診療	内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。									
到達目標	診察補師	助と生体	本検査の技術を修	修得する	5.						
テキスト・ 参考図書等			帀カリキュラム準 帀カリキュラム準			スト(第3版) 巻 動物内科看護	学/動物臨原	末検査学			
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準					
	試験		70								
評価方法・	レポー	١-	0	並布≐	式験:70 %						
評価基準	小テス	١	30		スト: 30 %						
	提出物		0								
屋牌 上の	その他		0								
履修上の 留意事項											
履修主題・			履修主題			履修[	内容				
履修内容	1	診察補	甫助 1		クロスマッチテストの手技						
	2	診察補	甫助 2		輸血のモニタリング						
	3	診察補	甫助 3		採尿(カテー	-テル)の手技					
	4	診察補	甫助 4		採尿(カテー	-テル)の手技					
	5	診察補	甫助 5		マイクロチッ	プの基本的手技					
	6	診察補	輔助 6		マイクロチッ	プの挿入手技					
	7	診察補	甫助 7		マイクロチッ	プの挿入手技					
	8	生体植	食査 1		眼科検査の補	前助					
	9	生体植	食査 2		眼科検査の補	前助					
	10	生体植	食査 3	眼科検査の保定							
	11	生体植	食査 4		皮膚検査の補	捕助					
	12	生体植	食査 5		皮膚検査の補	捕助					
	13	生体植	食査 6		皮膚検査の補	捕助					
	14	生体植	負査 7		外耳道検査の補助						
	15	生体相	食査 8		外耳道検査σ	)補助					

授業科目	動物内科看護学実習	担当教員	前鼻彰人		動物病院
1文未行口	<b>到初的竹百段子</b> 夫自	実務 経験	有:	無:	<b>エリイの1071以</b>
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年 · 前期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			

								1			
授業科目	動物内	科看護等	学実習		担当教員	前鼻 彰人					
対象年次・学期	愛玩動 <sup>物</sup> 期	物看護的	<b>市学科3年・後</b>	必何	修・選択区分	必修	単位数				
授業形態					授業回数		時間数				
授業目的	内科診療	診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。									
到達目標	生体検	査の技術	桁を修得する。 -								
テキスト・ 参考図書等			<b>帀カリキュラム</b> 準 帀カリキュラム準			スト(第3版) 巻 動物内科看護	学/動物臨原	末検査学			
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準					
	試験		70								
評価方法・	レポー	<b></b>	0	章亚/邢章	式験:70%						
評価基準	小テス	٢	30		スト: 30%						
	提出物		0								
<b>—</b>	その他		0								
履修上の 留意事項											
履修主題・			履修主題			履修四	内容				
履修内容	1	生体植	食査 1		X 線検査の基本保定						
	2	生体植	食査 2		X 線検査の基本保定						
	3	生体植	食査 3		X 線検査撮影のための基本知識						
	4	生体植	食査 4		X 線検査撮影のための基本知識						
	5	生体植	食査 5		X 線検査撮影	の補助					
	6	生体植	食査 6		超音波検査の	)基本保定					
	7	生体植	食査 7		超音波検査の	)基本保定					
	8	生体植	食査 8		超音波検査の	)補助					
	9	生体植	食査 9	超音波検査の補助							
	10	生体植	食査 10	心電図検査の補助、小テスト							
	11	生体植	食査 11		心電図検査の	)保定					
	12	生体机	<b>食査 12</b>		心電図検査の	)手技					
	13	生体植	食査 13		心電図検査の記録方法						
	14	生体植	食査 14		神経学的検査の基本的知識						
	15	生体植	<b>食査 15</b>		神経学的検査	<b>査の記録、小テスト</b>	-				
		•			•						

授業科目	動物内科看護学実習	担当教員	前鼻彰人		動物病院
1X X 17 L	באור ויניוערנים	実務 経験	有:	無:	שלין נייד נגיד נגיד נגיד נגיד נגיד נגיד נגיד
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年 · 後期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

投業科目   動物外科看護学実習   担当教員   前鼻											
対象年八・子桐 期   少修・班式に方   少修・単山数   投業回数   時間数   投業目的   技術的中心 所後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学 で学んだ知識の実践力を修得する。   要玩動物看護師カリキュラム準拠動物看護案習テキスト(第3版) 要玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ8巻 動物栄養学/動物外科看護学/動物医療   コミュニケーション   評価方法   評価割合(%)   対験   70   レポート   0   ルデスト   30	授業科目	動物外	科看護等	学実習		担当教員	前鼻 彰人				
授業目的   手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	対象年次・学期		物看護館	<b>両学科3年・前</b>	必何	修・選択区分	必修	単位数			
で学んだ知識の実践力を修得する。	授業形態					授業回数		時間数			
要玩動物看護師カリキュラム準拠動物看護実習テキスト(第3版) 要玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ8巻 動物栄養学/動物外科看護学/動物医療コミュニケーション   評価方法   評価制合(%)   評価基準	授業目的					<b>帯や麻酔監視、</b>	手術の補助、救急	<b>急救命など、</b> 「	動物外科看護学		
参考図書等   一	到達目標	術前準位	備の技術	<b>打を修得する。</b>							
評価方法・   試験		愛玩動物	物 <mark>看</mark> 護鴭	<b>帀カリキュラム</b> 準				/ 動物外科看	護学 / 動物医療		
評価方法・		評価	方法	評価割合(%)			評価基準	<u> </u>			
記録の		試験		70							
ボテスト   30   提出物   0   での他   0   0     1   1   1   1   1   1   1		レポー	٢	0	±亚/≖±	·士氏人,700/					
その他   0	評価基準	小テス	١-	30							
履修主題・ 履修主題・ 履修内容  1 術前検査 1 手術室に入る前の準備  2 術前検査 2 手術前の準備(スクラブ法)  3 術前検査 3 手術前の準備(ラピング法)  4 術前検査 4 手術前の準備(ガウニング)  5 術前検査 5 グローピング(クローズ法とオープン法)  6 術前検査 6 器具の取り扱い  7 術前検査 7 器具の取り扱い  8 術前検査 8 縫合針と縫合糸  9 術前検査 9 手術器具の漢菌方法  11 術前検査 10 手術器具の漢菌方法  11 術前検査 11 ドレープの取り扱い  12 術前検査 12 術前準備(総合演習)		<u> </u>		-							
図意事項		その他		0							
株前検査 1   手術室に入る前の準備											
2	履修主題・	回		履修主題			履修	内容			
3       術前検査 3       手術前の準備(ラビング法)         4       術前検査 4       手術前の準備(ガウニング)         5       術前検査 5       グロービング(クローズ法とオープン法)         6       術前検査 6       器具の取り扱い         7       術前検査 7       器具の取り扱い         8       統前検査 8       縫合針と縫合糸         9       術前検査 9       手術器具の準備         10       術前検査 10       手術器具の滅菌方法         11       術前検査 11       ドレープの取り扱い         12       術前検査 12       術前準備(総合演習)         13       術前検査 13       術前準備(総合演習)	履修内容	1	術前植	食査 1		手術室に入る前の準備					
4       術前検査 4       手術前の準備(ガウニング)         5       術前検査 5       グローピング(クローズ法とオープン法)         6       術前検査 6       器具の取り扱い         7       術前検査 7       器具の取り扱い         8       術前検査 8       縫合針と縫合糸         9       術前検査 9       手術器具の準備         10       術前検査 10       手術器具の滅菌方法         11       術前検査 11       ドレープの取り扱い         12       術前検査 12       術前準備(総合演習)         13       術前検査 13       術前準備(総合演習)		2	術前植	食査 2		手術前の準備 (スクラブ法)					
5       術前検査 5       グロービング (クローズ法とオープン法)         6       術前検査 6       器具の取り扱い         7       術前検査 7       器具の取り扱い         8       術前検査 8       縫合針と縫合糸         9       術前検査 9       手術器具の準備         10       術前検査 10       手術器具の滅菌方法         11       術前検査 11       ドレープの取り扱い         12       術前検査 12       術前準備(総合演習)         13       術前検査 13       術前準備(総合演習)		3	術前植	食査 3		手術前の準備 (ラビング法)					
6       術前検査 6       器具の取り扱い         7       術前検査 7       器具の取り扱い         8       術前検査 8       縫合針と縫合糸         9       術前検査 9       手術器具の準備         10       術前検査 10       手術器具の滅菌方法         11       術前検査 11       ドレープの取り扱い         12       術前検査 12       術前準備(総合演習)         13       術前検査 13       術前準備(総合演習)		4	術前板	食査 4		手術前の準備	備(ガウニング)				
7       術前検査 7       器具の取り扱い         8       術前検査 8       縫合針と縫合糸         9       術前検査 9       手術器具の準備         10       術前検査 10       手術器具の滅菌方法         11       術前検査 11       ドレープの取り扱い         12       術前検査 12       術前準備(総合演習)         13       術前検査 13       術前準備(総合演習)		5	術前板	食査 5		グロービング	ブ(クローズ法と	オープン法)			
8       術前検査 8       縫合針と縫合糸         9       術前検査 9       手術器具の準備         10       術前検査 10       手術器具の滅菌方法         11       術前検査 11       ドレープの取り扱い         12       術前検査 12       術前準備(総合演習)         13       術前検査 13       術前準備(総合演習)		6	術前植	食査 6		器具の取り扱	प्रा				
9     術前検査 9     手術器具の準備       10     術前検査 10     手術器具の滅菌方法       11     術前検査 11     ドレープの取り扱い       12     術前検査 12     術前準備(総合演習)       13     術前検査 13     術前準備(総合演習)		7	術前植	食査 7		器具の取り扱	प्रा				
10     術前検査 10     手術器具の滅菌方法       11     術前検査 11     ドレープの取り扱い       12     術前検査 12     術前準備(総合演習)       13     術前検査 13     術前準備(総合演習)		8	術前植	食査 8		縫合針と縫台	≩糸				
11     術前検査 11     ドレープの取り扱い       12     術前検査 12     術前準備(総合演習)       13     術前検査 13     術前準備(総合演習)		9	術前板	食査 9		手術器具の準	<b></b> 基備				
12		10	術前植	食査 10		手術器具の源	滅菌方法				
13 術前検査 13 術前準備(総合演習)		11	術前植	食査 11		ドレープの耳	又り扱い				
		12	術前標	食査 12		術前準備(約	総合演習)				
14 術前検査 14 術前準備(総合演習)		13	術前植	食査 13		術前準備(総合演習)					
		14	術前植	食査 14		術前準備 (総合演習 )					
15 術前検査 15 術前準備(総合演習)		15	術前植	食査 15		術前準備(約	総合演習 )				

授業科目	動物外科看護学実習	担当教員	前鼻彰人		動物病院
1文未行口	<b>勤初尔怀伯战于</b> 关目	実務 経験	有:	無:	<b>単力1の1内1元</b>
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年 · 前期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当			
		実務経験			

投業科目   動物外科看護呼実習   担当教員 前鼻 彰人   対象年次・学期   接業形態   接業回数   時間数   持限   持限   持限   持限   持限   持限   持限   持												
投業形態   投業回数   投票   世世	授業科目	動物外和	科看護等	学実習		担当教員	前鼻	彰人				
接業目的	対象年次・学期		物看護的	市学科3年・後	必何	多・選択区分	必修		単位数			
で学んだ知識の実践力を修得する。    到達目標	授業形態					授業回数			時間数			
デキスト・参考図書等	授業目的											
#	到達目標	術中補助	助と術領	<b>後管理、救急救命</b>	の技術	うを修得する。						
試験 70		愛玩動物	物 <mark>看</mark> 護鴭	<b>帀カリキュラム</b> 準					′動物外科看	護学 / 動物医療		
評価方法・   一		評価フ	方法	評価割合(%)				評価基準				
評価基準     小テスト     30       提出物     0       その他     0       履修上頭 履修主題・履修内容     原修主題     原修内容       1 伤中補助 1 麻酔器の各部名称     (新中補助 2 麻酔器の取り扱い)       3 新中補助 3 麻酔器の術前準備(リークテスト、操作方法)     4 新中補助 4 モニターの接続       5 術中補助 5 モニタリングの方法     6 新中補助 6 モニタリングの方法       7 新中補助 7 麻酔記録の作成       8 新中補助 8 歯科器具の取り扱い       9 術後管理 1 技歯の補助、創傷管理と包帯       10 術後管理 2 リハビリテーション       11 救急救命 1 気管挿管の補助       12 救急救命 2 薬剤の準備       13 救急救命 3 BLS       14 救急救命 4     ALS		試験		70								
履修上の 留意事項     履修内容       履修大容     回 履修主題・ 所中補助 1 麻酔器の各部名称 (新中補助 2 麻酔器の取り扱い)       4 栃中補助 3 麻酔器の術前準備(リークテスト、操作方法)       4 栃中補助 4 モニターの接続       5 栃中補助 5 モニタリングの方法       6 栃中補助 6 モニタリングの方法       7 栃中補助 7 麻酔記録の作成       8 栃中補助 8 歯科器具の取り扱い       9 紡後管理 1 抜歯の補助、創傷管理と包帯       10 栃後管理 2 リハビリテーション       11 救急救命 1 気管挿管の補助       12 救急救命 2 薬剤の準備       13 救急救命 3 BLS       14 救急救命 4		レポー	٢	0								
その他   0   1   1   1   1   1   1   1   1   1	評価基準		٢	30								
腰修主題・ 腰修内容												
図修主題・   回   履修主題   履修内容   1		その他		0								
指標を内容   1												
2	履修主題・	0		履修主題				履修	内容			
3	履修内容	1	術中額	<b>甫助 1</b>		麻酔器の各部名称						
4       桁中補助 4       モニターの接続         5       栃中補助 5       モニタリングの方法         6       栃中補助 6       モニタリングの方法         7       栃中補助 7       麻酔記録の作成         8       栃中補助 8       歯科器具の取り扱い         9       栃後管理 1       抜歯の補助、創傷管理と包帯         10       術後管理 2       リハビリテーション         11       救急救命 1       気管挿管の補助         12       救急救命 2       薬剤の準備         13       救急救命 3       BLS         14       救急救命 4       ALS		2	術中初	輔助 2		麻酔器の取り	扱い					
5     術中補助 5     モニタリングの方法       6     術中補助 6     モニタリングの方法       7     術中補助 7     麻酔記録の作成       8     術中補助 8     歯科器具の取り扱い       9     術後管理 1     抜歯の補助、創傷管理と包帯       10     術後管理 2     リハビリテーション       11     救急救命 1     気管挿管の補助       12     救急救命 2     薬剤の準備       13     救急救命 3     BLS       14     救急救命 4     ALS		3	術中額	輔助 3		麻酔器の術育	前準備(	リークテス	ト、操作方法	去)		
6		4	術中額	<b>輔助 4</b>		モニターの招	接続					
7     術中補助 7     麻酔記録の作成       8     術中補助 8     歯科器具の取り扱い       9     術後管理 1     抜歯の補助、創傷管理と包帯       10     術後管理 2     リハビリテーション       11     救急救命 1     気管挿管の補助       12     救急救命 2     薬剤の準備       13     救急救命 3     BLS       14     救急救命 4     ALS		5	術中額	輔助 5		モニタリング	がの方法	<b>去</b>				
8     術中補助 8     歯科器具の取り扱い       9     術後管理 1     抜歯の補助、創傷管理と包帯       10     術後管理 2     リハビリテーション       11     救急救命 1     気管挿管の補助       12     救急救命 2     薬剤の準備       13     救急救命 3     BLS       14     救急救命 4     ALS		6	術中額	輔助 6		モニタリング	がの方法	<del></del>				
9     術後管理 1     抜歯の補助、創傷管理と包帯       10     術後管理 2     リハビリテーション       11     救急救命 1     気管挿管の補助       12     救急救命 2     薬剤の準備       13     救急救命 3     BLS       14     救急救命 4     ALS		7	術中額	<b>載助 7</b>		麻酔記録の作	<b>F成</b>					
10     術後管理 2     リハビリテーション       11     救急救命 1     気管挿管の補助       12     救急救命 2     薬剤の準備       13     救急救命 3     BLS       14     救急救命 4     ALS		8	術中額	輔助 8		歯科器具の耳	双り扱い	1				
11     救急救命 1     気管挿管の補助       12     救急救命 2     薬剤の準備       13     救急救命 3     BLS       14     救急救命 4     ALS		9	術後管	<u> </u>		抜歯の補助、	創傷管	管理と包帯				
12     救急救命 2     薬剤の準備       13     救急救命 3     BLS       14     救急救命 4     ALS		10	術後管	<b>空理</b> 2		リハビリテ-	-ション	/				
13     救急救命 3     BLS       14     救急救命 4     ALS		11	救急求	女命 1		気管挿管の補	助					
14 救急救命 4 ALS		12	救急求	女命 2		薬剤の準備						
		13	救急求	女命 3		BLS						
15 救急救命 5 救命時のモニタリング		14	救急求	女命 4		ALS						
		15	救急救	女命 5		救命時のモニ	タリン	ノグ				

授業科目	動物外科看護学実習	担当教員	前鼻彰人		動物病院
7文未作口	<b>勤物が付有成子</b> 天日	実務 経験	有:	無:	まり4の1か1元 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科3年・後期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

	1					<u> </u>		
授業科目	動物臨	床看護等	学実習		担当教員	   佐藤 真帆 		
対象年次・学期	愛玩動 <sup>物</sup> 期	物看護的	师学科3年・前	必何	修・選択区分	必修	単位数	
授業形態					授業回数		時間数	
授業目的	動物看	護過程や	や疾患別の看護な	よど、重	<b>协物臨床看護学</b>	で学んだ知識の実	践力を修得す	する。
到達目標	動物看	護過程で	を実践し、看護詞	十画と看	<b>돌護記録が作成</b>	できる。		
テキスト・ 参考図書等			师カリキュラム¾ 师カリキュラム¾			スト(第3版) 巻 動物臨床看護	学総論 / 動物	勿臨床看護学各
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準		
	試験		70					
評価方法・	レポー	-	0					
評価基準	小テス	+	30					
	提出物		0					
<b>—</b> , .	その他		0					
履修上の 留意事項								
履修主題・			履修主題			履修内	<b>内容</b>	
履修内容	1	動物看	5護過程の実践	1	アセスメント	練習		
	2	動物看	<b>돌護過程の実践</b>	2	アセスメント	-練習		
	3	動物看	5護過程の実践	3	アセスメント	~練習		
	4	動物看	<b>들護過程の実践</b>	4	看護診断の優	是先順位		
	5	動物看	<b>「護過程の実践</b>	5	看護診断の優			
	6	動物看	<b>「護過程の実践</b>	6	看護診断の優	是先順位		
	7	動物看	<b>「護過程の実践</b>	7	観察項目の立	<b>Z</b> 案		
	8	動物看	<b>5護過程の実践</b>	8	観察項目の立	<i>I</i> 案		
	9	入院及	及び栄養管理 1		入院動物の管	<b>፸理とアセスメント</b>	-	
	10	入院及	ひび栄養管理 2		入院動物の管	理とアセスメント		
	11	動物看	<b>들護過程の実践</b>	9	看護動物の援	援助内容の立案		
	12	動物看	<b> </b>   護過程の実践	10	看護動物の援	援助内容の立案		
	13	動物看	<b>들護過程の実践</b>	11	看護動物の援	援助内容の立案		
	14	動物看	<b> </b>   護過程の実践	12	看護動物の援	援助内容の立案		
	15	動物看	<b>들護過程の実践</b>	13	看護動物の援	援助内容の立案		
								<u> </u>

授業科目	動物臨床看護学実習	担当教員	佐藤	真帆	動物病院
1文末行口	<b>到</b> /2000年代日	実務 経験	有:	無:	<b>単</b> り12017以下
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年 · 前期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務経験			
		担当 教員			
		実務 経験			

授業科目	動物臨	床看護等	学実習		担当教員	佐藤 真帆		
対象年次・学期	愛玩動 <sup>物</sup> 期	物看護的	<b>市学科3年・後</b>	必何	多・選択区分	必修	単位数	
授業形態					授業回数		時間数	
授業目的	看護学	実習で	学んだ知識と技術	の実践	<b>炎力を修得する</b>	•		
到達目標	身体検	査や診察	<b>察補助の技術、看</b>	護過程	星を実践できる	ようになる。		
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物	物看護的	<b>币カリキュラム</b> 準	拠動物	勿看護実習テキ	スト (第3版)		
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準		
	試験		70					
評価方法・	レポー	<b></b>	0					
評価基準	小テス	٢	30					
	提出物		0					
<b>—</b>	その他		0					
履修上の 留意事項								
履修主題・			履修主題			履修 個	內容	
履修内容	1	診察袖	輔助の実践 1		基本的な保定	☑ 立位、座位、优	t臥位、仰臥	位、横臥位等
	2	診察補	輔助の実践 2		採血保定 頸	<b>育静脈、橈側皮静脈</b>	氐、外側伏在i	静脈
	3	診察補	輔助の実践 3		採血保定 頸	<b>育静脈、橈側皮静脈</b>	氐、外側伏在i	静脈
	4	診察袖	輔助の実践 4		身体検査			
	5	診察袖	輔助の実践 5		身体検査 (/	バイタルサイン)		
	6	診察袖	輔助の実践 6		注射器の取り	)扱い		
	7	診察袖	輔助の実践 7		採血の手技			
	8	診察補	輔助の実践 8		留置の手技			
	9	診察袖	輔助の実践 9		輸液ポンプの	取り扱い		
	10	診察補	輔助の実践 10		シリンジポン	プの取り扱い		
	11	動物看	 5護過程の実践	1	動物看護計画	 Īの立案		
	12	動物看	護過程の実践	2	動物看護記錄	の作成		
	13	動物看	 5護過程の実践	3	動物看護記錄	の作成		
	14	診察補	輔助の実践 11		総復習			
	15	診察補	輔助の実践 12		総復習			
					1			

授業科目	動物臨床看護学実習	担当教員	佐藤	真帆	動物病院
5文未行日	<b>到</b> /切顷从 有	実務 経験	有:	無:	<b>単川10月7月</b> 7元
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年 · 後期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			

授業科目	動物看	護総合領	実習		担当教員	前鼻 彰人		
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科3年・前 期		必何	多・選択区分	必修	単位数		
授業形態					授業回数		時間数	
授業目的	要や機能	能、獣		い主と	このコミュニケ	に学んだ学習内容 ーション、愛玩動		
到達目標	愛玩動物	物看護師	师の技術を修得す	る。				
テキスト・ 参考図書等								
	評価	方法	評価割合(%)			評価基準		
	試験		0					
評価方法・	レポー		0		習日誌:20% 習評価表:40%	, 0		
評価基準	小テス		0	・実習	ョオリエンテ <i>ー</i>	·ションレポート:	20%	
	提出物		100	・実	<b>習報告会評価:</b>	20%		
履修上の 留意事項	看護実		100					
	回		履修主題			履修[	内容	
履修工超	1	実習前	前オリエンテーシ	′ョン	実習に必要な基礎知識の復習			
	2	実習前	前オリエンテーシ	′ョン	実習に必要な基礎知識の復習			
	3	実習前 2	前オリエンテーシ	′ョン	手術実習			
	4	実習前 2	前オリエンテーシ	′ョン	于例美省			
	5	手術実習			排創投生感周動内包術動術が管技機予期の、法ののの後のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	所の実践 受践 理技術の実践 可配慮と院内清掃、 養技術のの実践 養査種の名称、投 後 と と し実践 が開い、麻酔管理の見 は は が、 は が、 は が、 は が、 は が、 は が、 は が、 は	消毒の実践 薬量計算、薬 見学 浅	
	6	動物病院実習			排創投生感周動内包術動手術側薬体染術物用方前物術の臨外の無手ののの後のである。	所の実践 選践 型技術の実践 動配慮と院内清掃、 養技術のの実践 養各種の名称、投 も も と と は に に に に に に に に に に に に に	消毒の実践 薬量計算、薬 見学 銭	
	7	動物症	<b>病院実習</b>		食餌に関する 排泄介助技術 創傷管理技術		実践	

			投薬技術の実践
			生体機能管理技術の実践
			感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践   周術期の看護技術の実践
			動物の臨床検査補助の実践
			内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
			包方法の実践
			術前の準備の実践
			動物の手術補助、麻酔管理の見学
-			手術後の器具洗浄、滅菌の実践
			食餌に関する看護及び技術の実践   排泄介助技術の実践
			制傷管理技術の実践
			投薬技術の実践
			生体機能管理技術の実践
			感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
	8	動物病院実習	周術期の看護技術の実践
			動物の臨床検査補助の実践   内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
			内用、外用条合性の石材、技楽里可昇、条の可重力法、カー    包方法の実践
			が前の準備の実践
			動物の手術補助、麻酔管理の見学
			手術後の器具洗浄、滅菌の実践
			食餌に関する看護及び技術の実践
			排泄介助技術の実践
			創傷管理技術の実践   投薬技術の実践
			技楽技術の美成   生体機能管理技術の実践
			感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
	9	動物病院実習	周術期の看護技術の実践
			動物の臨床検査補助の実践
			内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
			包方法の実践
			術前の準備の実践   動物の手術補助、麻酔管理の見学
			新物の子術情間、
-			食餌に関する看護及び技術の実践
			排泄介助技術の実践
			創傷管理技術の実践
			投薬技術の実践
			生体機能管理技術の実践   感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
	10	   動物病院実習	窓架 7 切べの配慮と院内肩挿、肩苺の美践
	10	到初州凡关目	動物の臨床検査補助の実践
			内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
			包方法の実践
			術前の準備の実践
			動物の手術補助、麻酔管理の見学
-			手術後の器具洗浄、滅菌の実践   食餌に関する看護及び技術の実践
			良時に関する有護及び技術の実践     排泄介助技術の実践
	11		創傷管理技術の実践
			投薬技術の実践
			生体機能管理技術の実践
		## ### (** 17*)	感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
		動物病院実習	周術期の看護技術の実践 動物の原序検索補助の実践
			動物の臨床検査補助の実践   内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
			内内、介角楽台性の石物、放案重引昇、条の計量力法、カー    包方法の実践
			術前の準備の実践
			動物の手術補助、麻酔管理の見学
			手術後の器具洗浄、滅菌の実践
			食餌に関する看護及び技術の実践
	40	新 <i>州</i> 中中 中 羽	排泄介助技術の実践
	12	動物病院実習 	創傷管理技術の実践   投薬技術の実践
			技条技術の美践   生体機能管理技術の実践
		I	上口 10000日インバロックM

		感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
		周術期の看護技術の実践
		動物の臨床検査補助の実践
		内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
		包方法の実践
		術前の準備の実践
		動物の手術補助、麻酔管理の見学
		手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		食餌に関する看護及び技術の実践
		排泄介助技術の実践   創傷管理技術の実践
		別の音はなれる美氏という。
		生体機能管理技術の実践
		感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
13	動物病院実習	周術期の看護技術の実践
		動物の臨床検査補助の実践
		内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
		包方法の実践
		術前の準備の実践
		動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		食餌に関する看護及び技術の実践
		排泄介助技術の実践
		創傷管理技術の実践
		投薬技術の実践
		生体機能管理技術の実践
		感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
14	動物病院実習	周術期の看護技術の実践
		動物の臨床検査補助の実践
		内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
		包方法の実践   術前の準備の実践
		動物の手術補助、麻酔管理の見学
		手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		食餌に関する看護及び技術の実践
		排泄介助技術の実践
		創傷管理技術の実践
		投薬技術の実践
		生体機能管理技術の実践
45	チャル(c) (c) 22	感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
15	動物病院実習	周術期の看護技術の実践
		動物の臨床検査補助の実践   内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
		内所、万角架石種の石柳、政業量可昇、米の可量方法、万一日方法の実践
		術前の準備の実践
		動物の手術補助、麻酔管理の見学
		手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		食餌に関する看護及び技術の実践
		排泄介助技術の実践
		創傷管理技術の実践
		投薬技術の実践
		生体機能管理技術の実践   感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
16	   動物病院実習	周術期の看護技術の実践
10		動物の臨床検査補助の実践
		内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
		包方法の実践
		術前の準備の実践
		動物の手術補助、麻酔管理の見学
		手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		食餌に関する看護及び技術の実践
		排泄介助技術の実践
47	*************************************	創傷管理技術の実践
17	動物病院実習	投薬技術の実践
		生体機能管理技術の実践   感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
		周術期の看護技術の実践
	l	では、「これ」という。 (では、これでは、これでは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに

			動物の臨床検査補助の実践
			内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分     包方法の実践
			術前の準備の実践
			動物の手術補助、麻酔管理の見学
			手術後の器具洗浄、滅菌の実践
			食餌に関する看護及び技術の実践
			排泄介助技術の実践
			創傷管理技術の実践
			投薬技術の実践
			生体機能管理技術の実践   感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
	18	   動物病院実習	周術期の看護技術の実践
			動物の臨床検査補助の実践
			内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
			包方法の実践
			術前の準備の実践
			動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
			食餌に関する看護及び技術の実践
			排泄介助技術の実践
			創傷管理技術の実践
			投薬技術の実践
			生体機能管理技術の実践
	4.0	# L L & C C C C C C C C C C C C C C C C C	感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
	19	動物病院実習 	周術期の看護技術の実践
			動物の臨床検査補助の実践   内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
			包方法の実践
			術前の準備の実践
			動物の手術補助、麻酔管理の見学
			手術後の器具洗浄、滅菌の実践
			食餌に関する看護及び技術の実践
			排泄介助技術の実践   創傷管理技術の実践
			投薬技術の実践
			生体機能管理技術の実践
			感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
	20	動物病院実習	周術期の看護技術の実践
			動物の臨床検査補助の実践
			内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
			色方法の美成
			前間の準備の実践     動物の手術補助、麻酔管理の見学
			手術後の器具洗浄、滅菌の実践
			食餌に関する看護及び技術の実践
			排泄介助技術の実践
			創傷管理技術の実践   投薬技術の実践
			投条技術の美践   生体機能管理技術の実践
			三体機能自住技術の実践
	21	動物病院実習	周術期の看護技術の実践
			動物の臨床検査補助の実践
			内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
			包方法の実践
			術前の準備の実践   動物の手術補助、麻酔管理の見学
			動物の子術補助、麻酔管理の見字
			食餌に関する看護及び技術の実践
			排泄介助技術の実践
			創傷管理技術の実践
		X1.16	投薬技術の実践
	22	動物病院実習 	生体機能管理技術の実践
			感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践   周術期の看護技術の実践
			両桁期の有護技術の美践     動物の臨床検査補助の実践
			内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
		•	

		包方法の実践
		桁前の準備の実践   大地の工作対映   京和笠田の日常
		動物の手術補助、麻酔管理の見学   手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		子術後の競兵ボダ、原風の美成   食餌に関する看護及び技術の実践
		限時に関する有限及び技術の実践   排泄介助技術の実践
		創傷管理技術の実践
		投薬技術の実践
		生体機能管理技術の実践
		感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
23	動物病院実習	周術期の看護技術の実践
		動物の臨床検査補助の実践
		内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
		日方法の実践   術前の準備の実践
		動物の手術補助、麻酔管理の見学
		手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		食餌に関する看護及び技術の実践
		排泄介助技術の実践
		創傷管理技術の実践
		投薬技術の実践
		生体機能管理技術の実践
24	   動物病院実習	感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
24	劉彻炳阮夫百 	周術期の看護技術の実践   動物の臨床検査補助の実践
		内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
		包方法の実践
		析前の準備の実践
		動物の手術補助、麻酔管理の見学
		手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		食餌に関する看護及び技術の実践
		排泄介助技術の実践
		創傷管理技術の実践   投薬技術の実践
		技楽技術の実践   生体機能管理技術の実践
		感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
25	動物病院実習	周術期の看護技術の実践
		動物の臨床検査補助の実践
		内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
		包方法の実践
		術前の準備の実践   動物の手術補助、麻酔管理の見学
		勤物の子が帰助、麻酔管理の先子   手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		食餌に関する看護及び技術の実践
		排泄介助技術の実践
		創傷管理技術の実践
		投薬技術の実践
		生体機能管理技術の実践
06	   動物症で学习	感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
26	動物病院実習 	周術期の看護技術の実践   動物の臨床検査補助の実践
		動物の臨床検査補助の実践
		包方法の実践
		術前の準備の実践
		動物の手術補助、麻酔管理の見学
		手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		食餌に関する看護及び技術の実践
		排泄介助技術の実践
		創傷管理技術の実践   投薬技術の実践
		技楽技術の美成   生体機能管理技術の実践
27	   動物病院実習	三体機能自住政権の支政
		周術期の看護技術の実践
		動物の臨床検査補助の実践
		内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
		包方法の実践
		術前の準備の実践

		動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
28	動物病院実習	東京の事務を表現である。 食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分 包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
29	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
30	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
31	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分 包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
32	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分 包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践

33	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
34	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
35	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
36	動物病院実習	全部後の語彙が序、滅菌の失政 食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分 包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
37	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学 手術後の器具洗浄、滅菌の実践
38	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践 排泄介助技術の実践

		創傷管理技術の実践
		投薬技術の実践
		生体機能管理技術の実践   感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
		一窓架で防べの配慮と院内肩挿、肩母の美成
		動物の臨床検査補助の実践
		内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
		包方法の実践
		術前の準備の実践
		動物の手術補助、麻酔管理の見学
		手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		食餌に関する看護及び技術の実践
		排泄介助技術の実践
		創傷管理技術の実践
		投薬技術の実践
		生体機能管理技術の実践
39	   動物病院実習	感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践   周術期の看護技術の実践
39	」 劉彻炳阮美自	動物の臨床検査補助の実践
		内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
		包方法の実践
		術前の準備の実践
		動物の手術補助、麻酔管理の見学
		手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		食餌に関する看護及び技術の実践
		排泄介助技術の実践
		創傷管理技術の実践
		投薬技術の実践
		生体機能管理技術の実践
40	動物病院実習	感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
40		周術期の看護技術の実践   動物の臨床検査補助の実践
		内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
		包方法の実践
		術前の準備の実践
		動物の手術補助、麻酔管理の見学
		手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		食餌に関する看護及び技術の実践
		排泄介助技術の実践
		創傷管理技術の実践
		投薬技術の実践   生体機能管理技術の実践
		三体機能自住政権の実践
41	   動物病院実習	周術期の看護技術の実践
	10173770大日	動物の臨床検査補助の実践
		内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
		包方法の実践
		術前の準備の実践
		動物の手術補助、麻酔管理の見学
		手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		食餌に関する看護及び技術の実践
		排泄介助技術の実践
		創傷管理技術の実践
		投薬技術の実践   生体機能管理技術の実践
		三件機能自住政権の実践
42	   動物病院実習	周術期の看護技術の実践
12		動物の臨床検査補助の実践
		内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
		包方法の実践
		術前の準備の実践
		動物の手術補助、麻酔管理の見学
		手術後の器具洗浄、滅菌の実践
		食餌に関する看護及び技術の実践
43	   動物病院実習	排泄介助技術の実践
.5	23 (3)(3)(3)(3)	創傷管理技術の実践
		投薬技術の実践

			生体機能管理技術の実践
			感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
			周術期の看護技術の実践
			動物の臨床検査補助の実践
			内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
			包方法の実践
			術前の準備の実践
			動物の手術補助、麻酔管理の見学
			手術後の器具洗浄、滅菌の実践
			食餌に関する看護及び技術の実践
	44		排泄介助技術の実践
			創傷管理技術の実践
			投薬技術の実践
			生体機能管理技術の実践
			三体機能自住技術の美成   感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践
		動物病院実習	
			周術期の看護技術の実践
			動物の臨床検査補助の実践
			内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分
			包方法の実践
			術前の準備の実践
			動物の手術補助、麻酔管理の見学
			手術後の器具洗浄、滅菌の実践
	45	実習報告	発表

授業科目	動物看護総合実習	担当教員	阿保桜		動物病院
1又来作口	<b>到</b> 仍自 <b>设</b> 総口关目	実務 経験	有:	無:	<b>東川代の10月</b> 0万
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年 · 前期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	グルーミング演習			担当教員	   佐藤 真帆 			
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科3年・前 期		必必	修・選択区分	必修	単位数		
授業形態					授業回数		時間数	
授業目的	グルーミ	ミングミ	実践の基礎を理	解した.	上でカットの基	本を学び技術を身	に付ける。	
到達目標	犬種に合わせたカット技術の習得。グルーミング作業のスピードアップ。							
テキスト・ 参考図書等	グルーミング実習着・エプロン・グルーミング道具・ウィッグ							
	評価力	方法	評価割合(%)			評価基準		
	試験		C	)				
評価方法・	レポー		C		%・拇睾肉での/	ハテフトを行う =	けんけ 連頭か	アンドラ としょう とりょう という という という という という という という という という とい
評価基準	小テス	٢		60 %:授業内での小テストを行う。または課題などで評価。 40%:授業への取り組み姿勢や授業態度を含みます。 40 40 を含めます。				
	提出物							
	その他 講義内2	<b>交</b>   -						
履修上の 留意事項	ウィッ?	グを使月	用して授業を進	行する	めりよす。 場合もあります 変更になる場合			
<b>尼收</b> 十 晒			ではにより13年 履修主題	EV3127171	文文になる場合	<u>がめりより。</u> 履修P	 内容	
履修主題・ 履修内容	1	グル-		1	大種に合わせたカット(飾り毛等)			
	2			1	大種に合わせたカット(飾り毛等)			
	3	グル-	 -ミング実習	2	大種に合わせたカット(飾り毛等)			
	4	グル-	- -ミング実習	2	犬種に合わせたカット (飾り毛等)			
	5	グル-	 -ミング実習	3	犬種に合わせたカット (飾り毛等)			
	6	6 グルーミング実習 3		3	犬種に合わせたカット (飾り毛等)			
	7	グル-	-ミング実習	4	犬種に合わせ	たカット(飾り毛	等)	
	8	グル-	-ミング実習	4	犬種に合わせ	たカット(飾り毛	等)	
	9	グル-	-ミング実習	5	グルーミング	が作業のスピードア	アップ	
	10	グル-	-ミング実習	5	グルーミング	が作業のスピードア	<b>フ</b> ップ	
	11	グル-	-ミング実習	6	グルーミング	「作業のスピードア	アップ	
	12	グル-	-ミング実習	6	グルーミング	「作業のスピードア	<b>プ</b> ップ	
	13	グル-	-ミング実習	7	グルーミング	「作業のスピードア	アップ	
	14	グル-	-ミング実習	7	グルーミング	「作業のスピードア	アップ	
	15	グル-	-ミング実習	8	グルーミング	「作業のスピードア	<b>フ</b> ップ	
	16	グル-	-ミング実習	8	グルーミング	「作業のスピードア	<sup></sup> フップ	
	17	グル-	-ミング実習	9	ベイシング育	前作業の強化 スヒ	<u>゚</u> ゚ードア <mark>ップ</mark>	
	18	グル-	-ミング実習	9	ベイシング育	が作業の強化 スヒ		
	19	グル-	-ミング実習	10	ベイシング育	前作業の強化 スヒ		
	20	グル-	-ミング実習	10	ベイシング育	前作業の強化 スヒ	<u></u> ードアップ	
	21	グル-	-ミング実習	11	ドライング強	館化 スピードアッ	プ	
	22	グル-	-ミング実習	11	ドライング強	館化 スピードアッ	プ	
	23	グル-	-ミング実習	12	カット全般強	<b>強化</b>		
					•			

24	グルーミング実習 12	カット全般強化
25	グルーミング実習 13	カット全般強化
26	グルーミング実習 13	カット全般強化
27	グルーミング実習 14	小テスト・課題
28	グルーミング実習 14	小テスト・課題
29	グルーミング実習 15	小テスト・課題
30	グルーミング実習 15	小テスト・課題

授業科目	グルーミング演習	担当教員	佐々木珠	ጚ	トリマー
1文末1十口	ブルーミング原目	実務 経験	有:	無:	1.9 4
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科3年・前期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

投業科目 動物災害看護学 担当教員 前鼻 彰人   対象年次・学期   受援動物看護師学科3年・前									1			
投業形態   投業回数   時間数   投業回数   時間数   投業目的   災害急性期に動物救護のための獣医療を支援するための知識、技術を修得する。   野価方法   野価割合(%)   計価基準   野価方法   野価割合(%)   評価基準   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	授業科目	動物災	害看護等	Ž		担当教員	前鼻 彰人					
授業目的   災害急性期に動物教護のための獣医療を支援するための知識、技術を修得する。   到達目標   動物災害救命士   評価高法・	対象年次・学期				必任	修・選択区分	必修	単位数				
到達目標   動物災害救命士   評価方法   評価高値(%)   評価試験:60%   評価基準	授業形態					授業回数		時間数				
デキスト・参考図書等       評価方法 評価割合(%) 試験 60 以ボート 0 以ボート 0 以ボート 0 以ボート 20 提出物 10 その他 10       評価試験:60% ルデスト:20% ルデスト:20% ルデスト:20% リカスト:20% リカス・カー:20% リカス・カー:20% リカス・カー:20% リカス・カー:20% リカス・カー:20% リカス・カー:20%	授業目的	災害急性期に動物救護のための獣医療を支援するための知識、技術を修得する。										
#価方法 評価割合(%) 評価基準	到達目標	動物災	害救命	t								
試験												
評価方法・		評価	方法	評価割合(%)			評価基準					
ボースト   20		試験		60	評価語	式験:60%						
ボテスト   20   提出物   10   20   担出物   10   20   担出物   20   担当な   20   理難所の開設と運営 1   ICS と CSCA(TTT と HHH)   2   避難所の開設と運営 2   避難所における支援方法(VMAT)、避難所設営の基礎知識   3   救急救命と FA   2   日、		レポー	<b></b>	0			1立、松合陆巛訓婦	<b>5</b> \				
その他   10   出する   出する   日本	評価基準		٢	20		•		<b>(</b> )				
Refer												
図意事項		その他		10	щ9	×						
選難所の開設と運営 1   ICS と CSCA (TTT と HHH)     2   避難所の開設と運営 2   避難所における支援方法 (VMAT)、避難所設営の基礎知識     3   救急救命と FA 1   トリアージと FA (止血包帯、各種応急処置)     4   救急救命と FA 2   BLS と BLS 演習     5   救急救命と FA 3   ALS     6   救急救命と FA 4   ALS 演習     7   救急救命と FA 5   CPR 演習、小テスト     8   避難所運営 1   ペット版避難所運営方法 (図上訓練)     9   避難所運営 2   ペット版避難所運営方法 (図上訓練)     10   避難所運営 1   避難所開設訓練 (CSCA に基づく各役割の行動内容)     11   避難所運営 2   避難所開設訓練・実践     12   避難所運営 2   避難所開設訓練・実践     13   避難所運営 3   CSCA に基づいた総合防災訓練     14   避難所運営 3   CSCA に基づいた総合防災訓練												
<ul> <li>選難所の開設と運営 2 避難所における支援方法(VMAT) 避難所設営の基礎知識</li> <li>3 救急救命とFA 1 トリアージとFA(止血包帯、各種応急処置)</li> <li>4 救急救命とFA 2 BLS 凌習</li> <li>5 救急救命とFA 3 ALS</li> <li>6 救急救命とFA 4 ALS 演習</li> <li>7 救急救命とFA 5 CPR 演習、小テスト</li> <li>8 避難所運営 1 ペット版避難所運営方法(図上訓練)</li> <li>9 避難所運営 2 ペット版避難所運営方法(図上訓練)</li> <li>10 避難所運営 1 避難所開設訓練(CSCAに基づく各役割の行動内容)</li> <li>11 避難所運営 2 避難所開設訓練・実践</li> <li>12 避難所運営 3 CSCAに基づいた総合防災訓練</li> <li>14 避難所運営 3 CSCAに基づいた総合防災訓練</li> </ul>	履修主題・			履修主題		履修内容						
3 救急救命と FA 1 トリアージと FA (止血包帯、各種応急処置) 4 救急救命と FA 2 BLS と BLS 演習 5 救急救命と FA 3 ALS 6 救急救命と FA 4 ALS 演習 7 救急救命と FA 5 CPR 演習、小テスト 8 避難所運営 1 ペット版避難所運営方法(図上訓練) 9 避難所運営 2 ペット版避難所運営方法(図上訓練) 10 避難所運営 1 避難所開設訓練(CSCAに基づく各役割の行動内容) 11 避難所運営 2 避難所開設訓練・実践 12 避難所運営 2 避難所開設訓練・実践 13 避難所運営 3 CSCAに基づいた総合防災訓練 14 避難所運営 3 CSCAに基づいた総合防災訓練	履修内容	1	避難戶	所の開設と運営	1	ICS & CSCA (TTT & HHH)						
4       救急救命とFA 2       BLSとBLS演習         5       救急救命とFA 3       ALS         6       救急救命とFA 4       ALS演習         7       救急救命とFA 5       CPR演習、小テスト         8       避難所運営 1       ペット版避難所運営方法(図上訓練)         9       避難所運営 2       ペット版避難所運営方法(図上訓練)         10       避難所運営 1       避難所開設訓練(CSCAに基づく各役割の行動内容)         11       避難所運営 2       避難所開設訓練・実践         12       避難所運営 2       避難所開設訓練・実践         13       避難所運営 3       CSCAに基づいた総合防災訓練         14       避難所運営 3       CSCAに基づいた総合防災訓練		2	避難戶	所の開設と運営	2	避難所における支援方法(VMAT)、避難所設営の基礎知識						
5       救急救命とFA 3       ALS         6       救急救命とFA 4       ALS 演習         7       救急救命とFA 5       CPR 演習、小テスト         8       避難所運営 1       ペット版避難所運営方法(図上訓練)         9       避難所運営 2       ペット版避難所運営方法(図上訓練)         10       避難所運営 1       避難所開設訓練(CSCAに基づく各役割の行動内容)         11       避難所運営 2       避難所開設訓練・実践         12       避難所運営 2       避難所開設訓練・実践         13       避難所運営 3       CSCAに基づいた総合防災訓練         14       避難所運営 3       CSCAに基づいた総合防災訓練		3	救急求	対命と FA 1		トリアージと FA(止血包帯、各種応急処置)						
6 救急救命と FA 4 ALS 演習 7 救急救命と FA 5 CPR 演習、小テスト 8 避難所運営 1 ペット版避難所運営方法(図上訓練) 9 避難所運営 2 ペット版避難所運営方法(図上訓練) 10 避難所運営 1 避難所開設訓練(CSCA に基づく各役割の行動内容) 11 避難所運営 2 避難所開設訓練・実践 12 避難所運営 2 避難所開設訓練・実践 13 避難所運営 3 CSCA に基づいた総合防災訓練 14 避難所運営 3 CSCA に基づいた総合防災訓練		4	救急求	対命とFA 2		BLS と BLS 演習						
7 救急救命とFA 5 CPR演習、小テスト 8 避難所運営 1 ペット版避難所運営方法(図上訓練) 9 避難所運営 2 ペット版避難所運営方法(図上訓練) 10 避難所運営 1 避難所開設訓練(CSCAに基づく各役割の行動内容) 11 避難所運営 2 避難所開設訓練・実践 12 避難所運営 2 避難所開設訓練・実践 13 避難所運営 3 CSCAに基づいた総合防災訓練 14 避難所運営 3 CSCAに基づいた総合防災訓練		5	救急求	対命とFA 3		ALS						
8       避難所運営 1       ペット版避難所運営方法(図上訓練)         9       避難所運営 2       ペット版避難所運営方法(図上訓練)         10       避難所運営 1       避難所開設訓練(CSCAに基づく各役割の行動内容)         11       避難所運営 2       避難所開設訓練・実践         12       避難所運営 2       避難所開設訓練・実践         13       避難所運営 3       CSCAに基づいた総合防災訓練         14       避難所運営 3       CSCAに基づいた総合防災訓練		6	救急求	対命とFA 4		ALS 演習						
9       避難所運営 2       ペット版避難所運営方法(図上訓練)         10       避難所運営 1       避難所開設訓練(CSCAに基づく各役割の行動内容)         11       避難所運営 2       避難所開設訓練・実践         12       避難所運営 2       避難所開設訓練・実践         13       避難所運営 3       CSCAに基づいた総合防災訓練         14       避難所運営 3       CSCAに基づいた総合防災訓練		7	救急求	対命とFA 5		CPR 演習、小テスト						
10       避難所運営 1       避難所開設訓練(CSCAに基づく各役割の行動内容)         11       避難所運営 2       避難所開設訓練・実践         12       避難所運営 2       避難所開設訓練・実践         13       避難所運営 3       CSCAに基づいた総合防災訓練         14       避難所運営 3       CSCAに基づいた総合防災訓練		8	避難凡	所運営 1		ペット版避難所運営方法(図上訓練)						
11       避難所運営 2       避難所開設訓練・実践         12       避難所運営 2       避難所開設訓練・実践         13       避難所運営 3       CSCA に基づいた総合防災訓練         14       避難所運営 3       CSCA に基づいた総合防災訓練		9	避難戶	所運営 2		ペット版避難所運営方法(図上訓練)						
12       避難所運営 2       避難所開設訓練・実践         13       避難所運営 3       CSCA に基づいた総合防災訓練         14       避難所運営 3       CSCA に基づいた総合防災訓練		10	10 避難所運営 1			避難所開設訓練(CSCA に基づく各役割の行動内容)						
13       避難所運営 3       CSCA に基づいた総合防災訓練         14       避難所運営 3       CSCA に基づいた総合防災訓練		11	避難戶	所運営 2		避難所開設訓練・実践						
14 避難所運営 3 CSCA に基づいた総合防災訓練		12 避難所運営 2				避難所開設訓練・実践						
		13	避難戶	所運営 3		CSCA に基づいた総合防災訓練						
The Mile of VETALE AND A STATE OF THE STATE		14	避難戶	折運営 3		CSCA に基つ	いた総合防災訓練	Ę				
15 避難所運営 3 CSCA に基づいた総合防災訓練		15	避難戶	所運営 3		CSCA に基づいた総合防災訓練						

授業科目	動物災害看護学	担当教員	吉成	史織	動物病院
1支未行日	<b>到</b> /0火古 <b>自</b> <code-block></code-block>	実務 経験	有:	無:	型儿划内下
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年 · 前期	担当 教員			
授業形態		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当 教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			
		担当教員			
		実務 経験			

授業科目	国家試	験対策			担当教員	前鼻	彰人			
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年・前 期			必何	多・選択区分	必修		単位数		
授業形態	743				授業回数			時間数		
授業目的	愛玩動物	物看護的	<b>市免許取得に向け</b>	けて、問	問題演習を行い	資格取	得に必要な	知識を復習す	する。	
到達目標	愛玩動物	物看護的	币免許取得							
テキスト・ 参考図書等										
	評価	方法	評価割合(%)				評価基準			
	試験		70							
評価方法・	レポー		0	評価詞	式験:70%					
評価基準	小テス	<u> </u>	30		スト:30%					
	提出物		0							
履修上の 留意事項	C 07 12									
履修主題・	回		履修主題		履修内容					
履修内容	1	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集 (動物形態機能学)					
	2	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(動物形態機能学)					
	3	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(動物形態機能学)					
	4	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(動物形態機能学)					
	5	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(動物臨床看護学各論)					
	6	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(動物臨床看護学各論)					
	7	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(動物臨床看護学各論)					
	8	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(動物臨床看護学各論)					
	9	Computer Based Training			分野別問題集 (動物感染症学)					
	10	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集	€(動物	感染症学)			
	11	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集 (動物感染症学)					
	12	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集	[(動物	内科看護学	<u> </u>		
	13	Computer Based Training			分野別問題集(動物内科看護学)					
	14	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集 (動物外科看護学)					
	15	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集	[(動物	外科看護学	<u> </u>		

授業科目	国家試験対策	担当教員	阿保	桜		動物病院
1文未行口	四水叫歌刈水	実務 経験	有:		無:	발가생기사가지
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年・前期	担当 教員				
授業形態		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				

	ı										
授業科目	国家試	験対策			担当教員	前鼻	彰人				
対象年次・学期	愛玩動物 期	物看護的	<b>市学科3年・前</b>	必何	多・選択区分	必修		単位数			
授業形態	743				授業回数			時間数			
授業目的	愛玩動物	愛玩動物看護師免許取得に向けて、問題演習を行い資格取得に必要な知識を復習する。									
到達目標	愛玩動物	愛玩動物看護師免許取得									
テキスト・ 参考図書等											
	評価な	方法	評価割合(%)				評価基準				
	試験		70								
評価方法・	レポー	٢	0	=====================================	式験:70						
評価基準	小テス	٢	30		<sup>丸映 . 70</sup> スト:30%						
	提出物		0								
	その他		0								
履修上の 留意事項											
履修主題・	回		履修主題		履修内容						
履修内容	1	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(公衆衛生学)						
	2	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集 (公衆衛生学)						
	3	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(公衆衛生学)						
	4	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集 (公衆衛生学)						
	5	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(動物薬理学)						
	6	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(動物薬理学)						
	7	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(動物薬理学)						
	8	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(動物薬理学)						
	9	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(動物繁殖学)						
	10	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(動物繁殖学)						
	11	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集 (動物病理学)						
	12	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(動物病理学)						
	13	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集	[(動物的	塩床検査学	<u>*</u> )			
	14	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集	[(動物的	a床検査学	<u>+</u> )			
	15	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集	[(動物的	a床検査学	<u>+</u> )			
	16	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集	[(動物的		<u>*</u> )			
	17	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(愛玩動物学)						
	18	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(愛玩動物学)						
	19	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(比較動物学)						
	20	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(比較動物学)						
	21	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集 (動物形態機能学実習)						
	22	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集(動物形態機能学実習)						
	23	Comp	outer Based Trai	ning	分野別問題集	(動物内	內科看護学	実習)			
	L	<u> </u>									

24	Computer Based Training	分野別問題集(動物内科看護学実習)
25	Computer Based Training	分野別問題集 (動物内科看護学実習)
26	Computer Based Training	分野別問題集(動物内科看護学実習)
27	Computer Based Training	分野別問題集(動物外科看護学実習)
28	Computer Based Training	分野別問題集(動物外科看護学実習)
29	Computer Based Training	分野別問題集(動物外科看護学実習)
30	Computer Based Training	分野別問題集 (動物外科看護学実習)

授業科目	国家試験対策	担当教員	阿保	桜		動物病院
1文未行口	四水叫歌刈水	実務 経験	有:		無:	발가생기사가지
対象年次・学期	愛玩動物看護師学科 3 年・前期	担当 教員				
授業形態		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当 教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				
		担当教員				
		実務 経験				

授業科目	ゼミ				担当教員	佐藤 真帆			
対象年次・学期	愛玩動物 年	勿看護的	両学科3年・通	必何	多・選択区分	必修	単位数		
授業形態					授業回数		時間数		
授業目的	動物にこ	ついての	D理解を深め、コ	121	ニケーション力	や論理的思考力を	身に付ける		
到達目標	1 つのテ	マに	こついて探求学習	を行い	1、プレゼンテ <sup>.</sup>	ーションを行う。			
テキスト・ 参考図書等									
	評価方	方法	評価割合(%)			評価基準			
	試験		0						
評価方法・	レポート		0		勿:パワーポイ	ント他資			
評価基準	小テスト	<u> </u>	0	料 そのf	也:プレゼンテ	ーション、取り組	み姿勢		
	提出物		80						
履修上の 留意事項	2 97/2		<u> </u>						
履修主題・			履修主題		履修内容				
履修内容	1		说明、テーマ決 <i>め</i>		授業内容のガイダンス、テーマ決め				
	2	プレt 構成法	ヹンテーション資 快め	料の	テーマ決め、資料の構成案作成				
	3	作成			パワーポイントの作成				
	4	プレt 作成	ヹンテーション資 2	料の	パワーポイントの作成				
	5	作成	ヹンテーション資 3		パワーポイントの作成				
	6	作成			パワーポイントの作成				
	7	作成			パワーポイントの作成				
	8	作成			パワーポイントの作成				
	9	作成			パワーポイントの作成				
	10 プレゼンテーション資料の 作成 8				パワーポイントの作成				
	11	作成			パワーポイントの作成				
	12 プレゼンテーション資料の 作成 10				パワーポイントの作成				
	13	プレt 作成	ヹンテーション資 11	料の	パワーポイントの作成				
	14	プレt	ヹンテーション縛	習	プレゼンテーションの発表練習				
	15	成果幹	<b>设告</b>		プレゼンテー	・ション			

授業科目 ゼミ	担当教員	佐藤	真帆	動物病院
1支条行口 巴二	実務経験	有:	無:	<b>単月10月14日</b> 7元
対象年次・学期 愛玩動物看護師学科 3	3年・通年 担当 教員			
授業形態	実務経験			
	担当教員			
	実務経験			
	担当教員			
	実務経験			
	担当教員			
	実務経験			
	担当教員			
	実務経験			
	担当教員			
	実務経験			
	担当教員			
	実務経験			
	担当教員			
	実務経験			
	担当教員			
	実務経験			
	担当 教員			
	実務経験			